



2007年1月

No.003

発行日 2006年12月20日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel.049-224-8811 (内線 2612) Fax.049-225-9800
E-mail kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoekankyo.net/>

今月の主な記事

菅間緑地の生き物調査	2
笠幡・北小畔川沿いの「湧水探訪会」	3
私が変わればみんなが変わる！ 北公民館かんきょう祭り ...	4
マイクロ水力発電所等の見学会	5
川越市における環境行政の動き	6
活動報告	7-9
おしらせ	9-12

2006年を振り返って+2007年に向けての抱負



伊佐沼で仲良く泳ぐ「おしどり」の姿 (笠原啓一氏撮影)。

本会は2000年8月の設立から6年を過ぎ、さまざまな活動が定着してきました。成熟した団体は、長らく会員である人には心地よい場所になりますが、当会の役割は環境活動の環(わ)を広げることになり、常に新風を巻き起こすことが何よりも重要と考えます。

当会にとって、2006年のいちばん大きな変化は、広報の一新といえます。今号で3号目となる本誌ですが、本会の活動を主体にしても10ページの分量になることに、6年間の本会の成長を実感しています。今後、さらに会員参加型の広報をめざします。

2007年は、行政計画である「第二次川越市環境基本計画」が正式にスタートします。それに連動して、持続可能な発展に向けたビジョンと、各主体または協働による行動計画となる「(仮称)かわごえアジェンダ21」の策定に向けて、会員内外の力を結集したいと考えています。また、新たなプロジェクトを立ち上げて、多くのみなさまに参加してもらえ活動を進めたいと考えています。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

かわごえ環境ネット理事長 小瀬博之

菅間緑地の生き物調査

川越市東部の川越工業団地そばにある菅間緑地（川越市菅間）にて、11月4日（土）10:00～15:30にかけて、生き物調査を行いました。参加者は、かわごえ環境ネット及び埼玉県生態系保護協会の湧水プロジェクト総勢9名でした。熊谷市久下の元荒川だけに生き残っている絶

滅危惧希少魚「ムサシトミヨ」を絶滅の危惧から救う為の移殖候補地に昭和20年代頃まで生息が確認されている川越が選ばれました。候補地のひとつに選ばれた菅間緑地での生きもの調査は、緑地として整備された平成8年以来初めてです。以下はその調査状況です。

■井戸水が流れ込む人工池の水面を覆いつくすアカウキクサの除去作業



アカウキクサの除去作業



水面が見えるようになった

■人工池の生きもの調査



タチ網での魚類追い込み



サデ網による魚類の捕獲



テナガエビ



ギンブナの幼魚



ウシガエルのオタマジャクシ



コイ



ヌマムツの幼魚



ヌマエビ



捕獲した魚類



確定作業



調査者

■調査結果

ギンブナ	コイ	モツゴ	トウヨシノボリ	アメリカザリガニ	ウシガエル(幼)
10	1	5	1	2	2
ヌマムツ	テナガエビ	スジエビ	ウシガエル(成)	アマガエル	
2	2	50以上	1	2	

[気温 19.5℃、水温 17.0℃]

水中のマンガン濃度が高めな事や、溶存酸素

量の少なさなどが気がかりでしたが予想以上に生きもの達が豊富でした。なお、12月9日には湧水の湧く濠の生きもの調査を実施しました。

ムサシトミヨ復活への環境づくりは次回の調査終了後に具体化して行きます。

(推進責任者：平田、菅野、文責：大辻晃夫)

笠幡・北小畔川沿いの「湧水探訪会」

2006年11月11日(土) 9:00~12:00に、笠幡の延命寺~霞ヶ関湧水路~南小畔川湧水~北小畔川沿い西部用排水路のコースで湧水探訪会を開催しました。参加者は、一般及びかわごえ環境ネット会員で総勢20名となりました。

朝からの小雨模様で開催が危ぶまれましたが、定刻には全員が延命寺に集まり元気に出発しました。最初は今回の目玉でもある川越市河川課と協働して進めてきた日本古来の粗朶工法を採用した多自然型護岸の「霞湧水路とビオトープ池」を見学しました。次に、西後楽会館で小休憩を取ってから、近くにある市民の森第3号の林の中に湧水の湧く「千才池」を訪れました。その後、2007年1月から多自然型護岸工事が始まる北小畔川沿いの湧水と、自然護岸が残る「西部用排水路」を訪れ、帰路に着きました。

(推進責任者：平田・原嶋、報告：大辻晃夫)



霞湧水路のビオトープ池の見学風景
(池の周りの安全柵は仮設のもので、自然景観を配慮した、木杭とロープの柵に替わります)



湧水路に群生するヤマトシジミの観察中
(参加した小学生も興味津々です)



市民の森第3号の中の湧水池「千才池」にて
(ポイ捨てごみが目立ちました)



最後の自然護岸の水路が残る西部用排水路の見学風景
(1月より多自然型護岸工事が始まります)

私が変わればみんなが変わる！ 北公民館かんきょう祭り

6回目を迎えた「北公民館かんきょう祭り」は、11月18日、天気にも恵まれて多くの人に参加して行われ、環境を考える一日でした。

9時、北村実行委員長が、この行事の意義を強調し別記のような「かんきょう祭り宣誓」を読み上げ、全会一致で承認されました。続いて市役所フルーツ愛好会の会員によるさわやかなオープニング演奏で祭りを盛り上げました。

かんきょう祭り宣誓

私たちは、この美しい地球環境を守り、そして子孫に残していくために、日常の生活をもういちど見直し、できることから実践し、多くの周りの人たちに伝え拡げていくことを誓います。

メインイベントの「川越市をめぐる環境問題について」のトークショーが開かれました。50人近い熱心な聴衆を前に、川越市環境部の根岸参事の「川越にも環境基本条例ができました」、かわごえ環境ネットの小瀬理事長の「かわごえ環境アジェンダ21について」、クリーン川越めざす会の武田氏の「川越でも路上禁煙条例ができるけど」、新清掃センターを考える会の有馬さんの「新清掃センターはこんな内容で」と、それぞれの立場から解説と問題点が話され、質疑も交えて理解が深まりました。

昼からは、北公民館で活躍しているサークルの演奏・演技が行われました。口火を切って大正琴、男声コーラス、女声コーラス、混声合唱、マンドリン、太極拳、社交ダンスと楽しい交流

が繰り広げられました。

館内の1・2階のフロアーや講座室は、環境標語・川柳・都都逸の投稿、さらに環境をテーマにした写真がずらり張り出され、共感する作品に思い思いに投票をしていました。

標語は「川越の誇り 観光よりも環境で」がトップ、川柳は「ポイ捨てに 心も捨てるドライバー」と「狭い道 広い心で 拾うごみ」が同点で入賞しました。その他都都逸や写真は1月より北公民館で掲示されます。

また、不用品の再利用を願うフリーマーケットや有機野菜の頒布、血管年齢や体脂肪率測定の健康コーナーも企画されました。

2階の環境展示コーナーは、かわごえ環境ネットをはじめとして、小江戸ケナフの会、クリーン川越めざす会、北公かんきょうねっと、ネットワーク「かけはし」、医療生協初雁支部、東京電力、川越友の会、それに川越市環境部からと、環境家計簿や環境チェック表など、多彩な展示・実演で来館者の啓発に努めました。なかでも、マイバッグ運動とともに注目を集めている「風呂敷」の使い方コーナーでは、ビデオの模範指導に合わせていろいろなたたみ方に参加者も驚いていました。

来館者へのお礼として北公かんきょうねっと会員手作りの「桜草」の鉢が最後に配られました。参加者はざっと300人余、地味な環境を語るイベントは賑やかに終わりました。

(北村幹男)



川越市の根岸参事の講演



76点が張り出された「環境標語・川柳」



風呂敷コーナーを囲んだ展示の数々

マイクロ水力発電所等の見学会

社会環境部会地球温暖化・省エネ対策グループの企画による「マイクロ水力発電所等の視察」イベントが、11月28日、公募市民も加えた34人の参加で行われました。

川越駅西口を8時に出発、都心の渋滞を避けて外環線、川口インターから葛西線、湾岸線と遠回りをして10時半に横浜市の江ヶ崎にある東京電力の電気の史料館に到着、最初の見学場所の江ヶ崎マイクロ水力発電所まで歩きました。

この発電所は、川崎市の潮見台浄水場と末吉配水地との約50mの高低差を利用し、配水管にバイパスをつけてタービンを回して170kWの発電をするシステムでした（川崎市水道局ホームページに詳細 http://www.city.kawasaki.jp/80/80syomu/home/oshirase/micro_new.htm）。たまたま浄水場の補修工事で水量が少なく、発電は中止され、発電機の周りは静かでしたので、地下の設備まで入って運転・保守の東京電力の係員の説明を聞くことができました。

このようなマイクロ水力発電施設は、東京都の森が崎下水処理場内の処理水の吐き出し口の落差を利用した例などのいくつかが説明パンフ

レットにありました。

続いて、電気の歴史と技術の発展を展示している「電気の史料館」に戻り、広い館内の主要な展示の説明を聞きました。エレキの古典的な発電装置から原子力発電のメカニズムまで、じっくり見たら1日かけても終わらないほどの豊富な展示に驚きました。

明治の文明開化で銀座のガス灯が電灯に変わる姿から、国産の発電機や水力タービンなど、技術開発の苦闘の歴史がみられました。特に戦後の電力開発の大型化で、設備や機械の大きさに目を見張りました。また、家庭電器製品の発展の姿は、初期の電気釜、洗濯機、テレビなど、参加者の経験も合わせて興味をそそるものがたくさんありました。

2時間ほどで次の東京電力の横浜火力発電所へと移動しました。現在の電力の供給は、水力が10%、原子力が30%、火力が60%を占めています。水力と原子力で基礎的な量を確保し、昼夜間の変動や月の動き、季節による使用量の上下に対応するのが火力発電の役目であるとの解説があり、電力の安定供給に欠かせない施設

であることが強調されました。

燃料も石油から液化天然ガスに変わり、燃焼ガスの再利用による省エネ、効率化のモデル発電所になっていました。特に 1300℃のガスの噴射に耐えるタービンの羽の実物に、技術の粋が集められていました。1日の間の最大発電能力は 332.5 万 kW と、横須賀の発電所に次ぐ大きな施設でした。

最後に排気筒を束ねた巨大な 200 メートルの煙突にエレベータで上がり、展望室から東西南北の景観を眺めました。あいにくの曇り空で富士山は見えませんでした。有意義な見学会でした。(金子大蔵)



地下室にあるマイクロ水力発電の設備



「電気の史料館」で技術の発展を見せる送電設備



緑化率が 40%を超えている火力発電所の俯瞰写真

川越市の環境行政

1) 新清掃センター建設業者決まらず

建設が急がれている新清掃センターは、2社による入札が11月27日に行われましたが不調となり、12月議会への提案が出来なくなりました。市議会でも質問がでましたが、仕様書の見直し等を行い、年度内での契約を目指したいとしています。

2) 路上喫煙防止条例、市議会可決へ

ポイ捨て禁止は現在施行されている県の条例にまかせ、市では「路上喫煙防止の努力義務と喫煙禁止地区指定」「1万円以下の過料」の内容の「路上喫煙防止条例」で提案されました。議会では市民への啓発と喫煙禁止地区指定について疑問がなされました。議決されれば、来年4月施行、地区指定や過料徴収は10月からを予定しています。

3) 第二次川越市環境基本計画の策定

平成18年度よりの「第三次川越市総合計画」の策定にあわせて、川越市環境審議会で第二次川越市環境基本計画(素案)について協議を重ね、10月19日に答申をいただきました。現在、事業計画とのすり合わせの最終調整を行い、新しい環境審議会へ報告し、平成19年3月に策定する予定です。

4) 川越市環境審議委員の公募

川越市良好な環境の保全に関する基本条例に基づく新環境審議会には、公募の委員として男女各3人ずつの委嘱を予定しています。広報等で、10月から11月にかけて市民からの参加を呼びかけ、12名の市民からの応募がありました。小論文を審査し1月中に決定の予定です。

5) 川越市廃棄物処理施設設置等紛争の予防及び調整条例の制定を検討、3月議会に提案

廃棄物処理施設の許可申請に際して、周辺住民とのトラブルを事前に防止するため、積極的な情報開示と、事業者と周辺住民との建設的な協議を行う仕組みを定めています。3月議会に提案の予定で調整中であります。

活動報告

その他活動報告

●社会環境部会廃棄物減量化グループで生ごみ処理工場などを見学

当グループは、毎月1回さわやか活動館に集まって検討会議を行っています。ゴミを資源化し減量すれば、焼却工場の負担が軽減され、税金も少なくて済みます。このような方向に清掃行政を進めたいものです。

川越市でも、生ごみ発酵のコンポストに補助を出していますが、庭や家庭菜園を持つ家庭でなければ普及は進みません。狭山市では、4,000世帯が参加している生ごみ堆肥化事業が進んでいます。そのシステムを研究中であり、近く現地視察も計画しています。

また、食堂や食品工場からの生ごみを堆肥と飼料に変えているJRSの三ヶ島工場（所沢市）を、11月29日に村上・渡辺理事ら5人で見学しました。県や業界とのプロジェクトによる、生ごみの資源化の5年にわたる研究成果を生かして設立された新鋭工場でした。雑多な材料を処理するために、特に臭気と汚水対策に力を入れています。環境に配慮した近代的なシステムに認識を新たにしました。（原嶋昇治）



工場前にて



減圧乾燥機

●ストップ温暖化 SAITAMA フェア

11月19日、さいたま新都心駅コンコース会場で、県の呼びかけに応えた環境関係団体による「ストップ温暖化 SAITAMA フェア」が開かれました。東京電力、東京ガス、トラック協会などの事業者から、NPO 法人自然観察さいたまフレンド、毛呂山の自然を守る会、自然を守る狭山リサイクルの会、秩父エコクラブなど、40を超える団体が思い思いの展示を競いました。かわごえ環境ネットからは、社会環境部会の渡辺利衛さんの電圧制御による省エネ装置（商品名：電気の蛇口）の解説と展示とともに、小江戸ケナフの会の2つが参加しました。

環境に熱心な見学者からの質問に答えながら、身近な問題から省エネルギーを考えることの大切さを学んだ一日でした。（川口啓介）



展示ブースの様子

かわごえ環境ネット理事会・専門委員会からの活動報告

●理事会

11月27日に行われた第73回理事会の主な議事は次のとおりです。

<審議事項>

- ・次年度の事業・予算について

現状の人員で可能な事業を考慮、テーマと優先順位を決め順次実施して行くのが望ましい。例年実施予定の環境フォーラム他、各イベント事業の企画概要を各部会・委員会から提出、予算の検討を行う。

- ・設立10周年記念事業に向けての検討
事業企画を念頭に具体的な案作りを検討する。
- ・かわごえ環境ネット紹介パンフレット・ポスターの作成について

当会を紹介するパンフレットを制作する。また、月刊となった会報の最終ページに入会案内を掲載。また、会報にパンフレットの差し込みを行う。各公民館へ置けるようにしたい。

- ・第2回新河岸川流域づくり懇談会の参加。

新河岸川治水事務所からの参加依頼があり、横山・武田理事の参加が決まった。

- ・広報の印刷を鮮明に出来ないか。

会報掲載写真が不鮮明である。印刷会社への依頼を検討したが、金額高くなり実施は見送りとした。

<報告事項>

- ・エコライフ DAY2006 の参加について
- ・第5回かわごえ環境フォーラムの準備状況
- ・鶴ヶ島市の環境シンポジウム報告
- ・パイオニア(株)主催の環境コミュニケーションの報告
- ・各部会からの活動報告

子細は部会報告を参照ください。

(広報担当理事：金子晃)

●社会環境部会

第8回定例会が11月15日に市役所7C会議室で開催されました。出席者は会員9名、事務局2名でした。主な議事は次のとおりです。

- ・1月28日の「マイクロ水力発電所等見学」について説明があった。マイクロ発電所は点検のため水量削減により発電はしていないが、逆に施設の構造等を見学できるので支障なしとし、予定通りの実行を決定した。
- ・県主催の「エコライフ DAY 埼玉 2006」夏の実施状況についての説明と解説があった。12月3日の冬の統一実施について協力要請があった。
- ・廃棄物減量グループより、生ごみ処理に有効な特殊バケツとしてエコパラダイスペールの紹

介があった。意見交換ののち、受け入れ側のJAや市の見解を聞く予定である。

- ・まち美化グループで12月23日の市内ポイ捨てゴミ拾い、24日の路上禁煙の啓発手書きポスターについて説明があった。(代表：渡辺利衛)

●自然環境部会

11月度は11月10日(金)に開催され、残された平地林の保全グループと水辺の保全と再生グループからの活動報告と討議が行われました。

「菅間緑地の生きもの調査」は11月4日(土)に行われました。この地はムサシトミヨ復活の候補地でもあり、1996(平成8)年の公園造成時から一度も生きもの調査を実施していませんでした。今回は植生と人工池の魚類を主体に生態系保護協会の湧水プロジェクトの参加も得て実施しました。詳しくは記事をご覧ください。

「霞湧水路の打合せ」は11月10日(金)に川越市河川課と多自然型護岸工事の第二期工事及び、前回工事の改善点の協議を行いました。

「湧水探訪会」は11月11日(土)に小雨の中を延命寺から笠幡の霞湧水路や小畔川沿いに湧く湧水を探訪しました。詳しくは記事をご覧ください。

「真岡市からの視察」は11月15日(水)に自然環境部会からは横山と大辻が代表として出席し、自然環境部会の活動状況の報告と質疑応答を行いました。その後は仙波河岸史跡公園の見学案内をいたしました。

「仙波河岸史跡公園水路の改修打合せ」は11月20日(水)に川越市上下水道局下水維持課と第2回目の協議を行いました。今回は、10月に提案した粗朶工法による多自然型護岸での設計案が市から提示されました。工事は2007年1月から始まります。(代表：大辻晃夫)

●広報委員会

11月14日の広報委員会では、今号である第2号(11月20日発行予定)の内容確認と、次号

となる第3号(12月下旬発行予定)の掲載内容を検討しました。

広報委員会が窓口になって進めていた、川越ケーブルテレビ制作によるかわごえ環境ネット団体会員の活動紹介の骨子が固まり、来年1月中旬より毎月1団体放送することになりました。詳細は次号で報告します。(委員長:武田侃蔵)

●かわごえ環境フォーラム実行委員会

12月4日の第4回委員会では、申込状況と発表の可能性がある団体、個人への働きかけ、協賛団体、講師依頼の確認、こどもエコクラブの発表方法の検討が行われました。講演会、シンポジウムは、2月24日(土)川越市市民会館第1・2・3会議室にて倉宗司氏(みずとみどり研究会、小金井市水道課)「小金井市における雨水浸透事業の推進と湧水の復活」、斉藤恒氏(川越の歴史を語る会)「昔の川越の水辺」の2名の講演が決定しました。また、会場の構成を検討しました。さらに、タイムスケジュールを作成し、原稿提出や報告集などの期日を決めました。

次回12月26日に開催されます。

(委員長:横山三枝子)

●(仮称)かわごえアジェンダ21検討委員会

12月13日(水)の第5回検討会では、フロー図を用いて、アンケートによって得られた将来世代にわたり地球全体および川越市が持続的に発展していくため取り組むべき具体的な行動の集約化を図りました。また、項目の追加を検討しました。これに併せて、(仮称)かわごえアジェンダ21の全体構成を検討しました。今年度末までに、これらの議論をまとめて、次年度の事業につなげていきたいと考えています。委員を随時増員しています。委員会はフレッシュな意見を持っているはじめての方の参加を大いに歓迎します。なお、2005年8月の川越市環境基本条例(川越市良好な環境の保全に関する基本条例として制定)からこれまでの審議経過は「かわごえアジェンダ21Wiki」(<http://kawagoekankyo.net/wiki>)に掲載されています。ぜひご覧ください。(委員長:小瀬博之)

おしらせ

募集

●第5回かわごえ環境フォーラム(2月24日・土曜日)のレポート提出をお願いします。

2007年2月24日(土曜日)に川越市市民会館で開催される「かわごえ環境フォーラム」における「環境活動報告会」の発表・展示への多数の応募、まことにありがとうございました。発表・展示者には、当日発行する「かわごえ環境活動報告集」へのレポート提出をお願いします。期限は12月22日(金)となっております。提出されていない方は、1月10日(水)事務局必着でお願いします。

●「エコライフ DAY2006 埼玉」の実施・提出を年内にお願いします

かわごえ環境ネットでは、埼玉県が推進する

環境家計簿「エコライフ DAY2006 埼玉」の実施と提出を、12月20日(水)までをお願いしていましたが、まだされていない方は、12月28日(木)までに事務局への提出をお願いいたします。詳しくは、すでに会員にお送りした11月の郵送資料をご覧ください。

かわごえ環境ネット主催・出展イベント

会員以外の方の参加については、かわごえ環境ネット事務局にお問い合わせください。

★陽だまりの雑木林で 野鳥や冬芽のウォッチング〔(仮称)川越市森林公園計画地自然観察会〕

冬の雑木林は天気がよければ風も遮られ、ぽかぽかと気持ちよいものです。葉が落ちた木々の間から野鳥が飛び交う姿もはっきりと見るこ

とができます。樹木に目を近づけると、やがて来る春に備え冬芽をのばしています。葉痕にもヒツジやサルのおっくりさんがいて意外な発見があります。

日時：1月28日（日）9:30-12:30（小雨決行）

場所：川越南文化会館ジョイフル（川越市今福1295-2）集合

参加費：100円（保険代）

共催：(財)埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

申込・問い合わせ：かわごえ環境ネット事務局

★第5回 かわごえ環境フォーラム

午前は環境活動報告会（パネルディスカッション形式）、午後はシンポジウムとなります。環境活動報告会の発表・展示者を募集しています。

日時：2007年2月24日（土）9:30-16:00

場所：川越市市民会館 第1・2・3会議室（川越市郭町1-18-7）

理事会・専門委員会

●の部会は会員全員が対象、◆の理事会・委員会は但し書きがない場合は委員のみが対象となります。

◆かわごえ環境フォーラム実行委員会(第5回)

日時：12月26日（月）13:00-14:30

場所：川越市役所地階 修養室（川越市元町1-3-1）

◆理事会（第75回）

日時：12月26日（火）15:00-17:00

場所：川越市役所7階 7G会議室

◆企画委員会（第3回）

日時：12月26日（火）17:00-18:00

場所：川越市役所7階 7A会議室

●自然環境部会（2007年1月度）

日時：1月12日（金）15:00-17:00

場所：川越市役所7階 7G会議室

原則として毎月第2金曜日 15:00-17:00に定例

会を開催、次回は2月9日です。

◆かわごえアジェンダ21検討会（第6回）

日時：1月10日（水）9:30-11:30

場所：川越市役所7階 7A会議室

委員を随時追加しています。興味のある方はどなたでもご参加ください。

◆かわごえ環境フォーラム実行委員会(第5回)

日時：1月15日（月）15:00-17:00

場所：川越市役所地階 修養室

◆広報委員会（2007年1月度）

日時：1月15日（月）17:30-19:00

場所：川越市役所5階打ち合わせスペース

●社会環境部会（2007年1月度）

日時：1月17日（水）15:00-17:00

場所：川越市役所7階 7G会議室

原則として毎月第3水曜日 15:00-17:00に定例会を開催、次回は2月21日です。

◆理事会（第76回）

日時：1月23日（火）18:00-20:00

場所：川越市役所7階 7B会議室

会員の主催行事・募集等

●(財)埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

伊佐沼探鳥会

日時：1月14日・2月11日（日）10:00-12:00

場所：伊佐沼の西側にある蓮見橋集合

問い合わせ先：笠原啓一 Tel.049-222-0957

●特定非営利活動法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

森林公園かんさつ会

日時・場所：1月7日（日）西口集合、2月15日（木）南口集合

自然観察会

日時・場所：1月7日（日）西口集合・2月4日（日）南口集合

以上の問い合わせ先：谷津弘子 Tel.049-224-9118

●クリーン川越めざす会

「路上禁煙・ポイ捨て禁止条例の啓発ポスターを手書きで！」市議会で成立。すぐ啓発運動を。税金節約市民の手で！

日時：12月24日（日）9:00-16:40

場所：川越福祉センター 第1会議室（川越市新宿町1-17-7, 川越駅西口徒歩5分）

カレンダーの裏を利用

成人式会場の歩きタバコ・ポイ捨て禁止を啓発しながら清掃活動

日時：1月8日（祝）10:00-15:00

場所：川越運動公園入口集合

「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・放置自転車」のゼッケンをつけて、まち美化啓発運動

日時：1月11日（木）・27日（土）・2月6日（火）・8日（木）13:30-15:30

場所：川越駅東口アトレ横歩道橋下集合
市内中心部の清掃（毎月第3日曜日）

日時：1月21日・2月18日（日）9:30-11:30

場所：本川越駅交番横集合

以上の問い合わせ先：武田侃蔵 Tel.049-222-0786

ホタルの飼育で勉強会

夏の夜の風物詩、ホタルの舞う環境作りをめざす自然部会では、下記要領で勉強会を計画しました。ふるってご参加ください。

- 1 日時 平成19年1月25日（木）
14時~16時
- 2 場所 川越市中央公民館2階第1会議室
- 3 講師 金子隆治さん（旭町在住 ホタル飼育の専門家）
- 4 内容 ホタルの基礎知識、飼育・繁殖等候補地の環境作りの助言も予定
- 5 申し込み 1月19日までにかわごえ環境ネット事務局(049-224-8811 内線2612)まで。参加費無料。

入会案内

●会員資格

かわごえ環境ネットは、

- ◇ 自然を守りたい
- ◇ 緑をいっぱいになりたい
- ◇ 川や水辺をきれいにしたい
- ◇ ごみを減らしたい
- ◇ 歴史的街並みを大切にしたい
- ◇ 環境にやさしい生活をしたい
- ◇ 仕事で環境問題を考えたい
- ◇ 環境について話したい
- ◇ 環境に関する情報を知りたい

そんなことを考えている人や団体が協力してこれからの川越のことを考えたり、協力して働いたり、情報交換をするための組織です。次の個人および団体が会員になることができます。

1. （個人）川越市に在住または在勤の個人
2. （民間団体）市内で環境に関する活動をしているまたはこれから活動しようとしている構成員が5人以上の民間団体
3. （事業者）市内に所在する事業所および事業所を構成員とする団体
4. （行政）川越市
5. その他理事会で承認されたもの

年会費は、個人が1,000円（1口）、民間団体および事業者、行政が2,000円（2口）となっています。

●会員への特典

会員になると次のような特典があります。

1. 月刊かわごえ環境ネット（毎月下旬発行）、その他、かわごえ環境ネットからのおしらせの郵送
2. イベント情報、会員情報の掲載（郵送添付、会員通信、ホームページ）
3. かわごえ環境ネットが主催する事業（ワークショップ、施設見学会、講演会、勉強会など）への出展や参加

4. 総会、専門委員会への参加

●会員になるには

随時入会を受け付けています。「入会申込書」と「会員登録カード」(事務局とホームページにあります)に必要事項を記入の上、事務局まで直接提出していただくか、または Fax、郵送でお送りください。

編集委員会からのお知らせ

●川越ケーブルテレビで活動紹介

かわごえ環境ネット会員の活動を、川越ケーブルテレビで紹介するシリーズが1月から始まります。第1回目はEMクリーンクラブです。放映は1月27日、小江戸かわごえちゃんねるで7:45・10:45・21:20・22:40の4回で放映されます。

1月29日は8:45・10:40・15:45・16:40の4回、各10分ほど紹介されます。この放送の題は「われら環境ネット」と決まりました。毎月、1団体ずつ紹介します。お誘い合わせの上ご覧になって下さい。

放映内容の概要をご紹介します。

EMクリーンクラブは、有用微生物群のEM菌による、自然循環型地域社会づくりの運動をしています。生ごみの堆肥化リサイクル、廃油石鹼づくり、河川や池、沼の浄化などで活動しています。

今回の放映では、EM泥団子による伊佐沼の浄化、仙波河岸史跡公園内の池や水路の浄化活動の様子が取り上げられました。泥団子を子供もまじって作り、池に投げ入れ、1か月後に水質検査をやっている姿などが映されています。この活動が子供の環境教育になり、自然を愛する情操教育にもなります。会への加入は代表の泉山信一(携帯080-6619-0810)までご連絡を。

2月は、生活クラブ生協川越の活動内容を放映の予定です。各団体の活動をPRするためにも、ご希望の団体、グループは、広報委員会の方までお申し出下さい。



発酵EM泥団子とEM活性液



野球少年が泥団子を池に投げ入れ

編集後記

改題「かわごえ環境ネット」の第3号をお届けします。師走のお忙しいところに届きますが来年の飛躍を期した予定がいっぱいです。第5回のフォーラムの成功を祈念して、かわごえ環境ネットの発展の年としたいものです。

巻頭の写真は、「協働」「パートナーシップ」の願いをこめて、3羽の「おしどり」の息の合った姿で飾りました。この写真は笠原前理事長が、今年の2月12日の探鳥会で見つけた光景



です。また、白鳥が川島町の越辺川に100羽ほど飛来しておりますが、川越にも飛んでくるような智恵はないかと、市議会の質問がありました。笠原さんの撮影された白鳥の雄姿を、川越の空でも見られるように、環境を整えて飛躍の年にしたいものです。(KT)